

あきつ



No. 12 令和6年 6月27日
校長 太良木 香江

「みんなちがって みんなたいせつ」

明日で6月の最終週を終えます。6月は「心のきずなを深める月間」「『人権の花』運動における花の種子等の伝達式」等を通して、人と人とのつながり、一人一人の個性を大切にすること、そしてみんなが、かけがえのない存在であることを改めて感じました。

さて、本校の学校教育重点目標の一つに「一人一人を大切にする教育の推進」を挙げています。道徳教育や人権教育を柱とした授業実践や児童理解に努めています。また特別支援教育の推進についても全職員で組織的に行っています。



特別支援教育とは障がいのあるこどもを含め、特別な配慮を必要とするこども一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導及び必要な支援を行うものです。本校でも特別支援学級（コスモス学級）や通常学級の中でも、こどもの実態を肯定的に捉え、どのこどもにも分かりやすい授業になるよう取り組んでいるところです。併せて特別支援教育を推進する上でこどもを理解することはとても大切なことです。このことは、私たち教職員はもちろんのこと、こども同士の理解も含まれます。

そこで、特別支援学級（コスモス学級）の担任を中心にコスモス学級ではどんな勉強をしているか、コスモス学級の友達のことを知ってもらう授業を各学年で行っています。主に以下のような内容をこどもたちに伝えました。

- コスモス学級では、一人一人にあったやり方で自分のペースで勉強しています。
- 音に敏感な友達は「イヤーマフ」という道具をつけて大きな音から耳を守っています。歩きやすいために装置をつけている友達もいます。文字が読みづらくなると眼鏡をかけますよね。それと同じです。
- コスモス学級の友達も得意なことや苦手なことがあります。みなさんと一緒に活動などをしているときに困っている様子を見かけたら、声をかけてもらえるとうれしいです。
- 一人一人得意なことや苦手なこと、違いがあります。でもみんな一人一人が大切な存在です。

この学習を通してのこどもの感想（2年生）

- コスモス学級のことをよく知れてうれしかったです。
- コスモス学級はなんであるのか知りませんでした。だけど先生の話聞いて、なぜあるのか分かりました。
- コスモス学級のみんなも同じくらいがんばっていることが分かりました。

特別支援教育には、障がいのあるこどもたちの自立と社会参加を目指した取組と、共生社会の形成に向けた取組の2つの側面があります。学校では特別支援学級、通常学級のこどもたちが共に授業や活動を行う交流及び共同学習を通して充実した学び合いができるように努めています。今回の取組はこどもたち同士が相互に尊重しながら協働して生活していく態度を育む第一歩となったと思います。

なお、お子様の学校生活、学習等で気になることがございましたら、担任、特別支援教育コーディネーター、教頭に遠慮なくご相談ください。併せまして熊本市教育委員会から出されているリーフレットもご覧いただくと幸いです。⇒[特別支援教育 家庭・地域啓発リーフレット](#)



【 学校教育目標 】

一人一人が輝く、笑顔あふれる学校
自ら考え主体的に行動する人を育む教育の推進
～考える子・チャレンジする子・つながり合う子～



6月の生活目標

気持ちのよいあいさつをしよう
～さわやかあいさつ～

あ あかるいあいさつ
き きれいな学校
つ つながるこころ
つ つながり合おう

ホームページ
QRコード